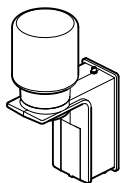


施工説明書

住宅用照明器具 (FreePaポーチライト)



品番 **LGWC85214K** **LGWC85215K**
(ダークブラウンメタリック) (ホワイト)

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

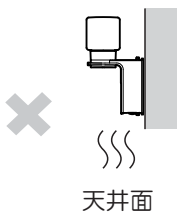
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

浴室などの湿気の多い場所

補強のない場所
(ベニヤ板や石こうボードなど)



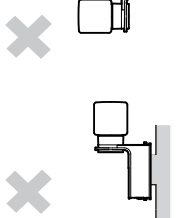
禁止



天井面



据置取付



取付面が取付パッキンより小さい場所

◎この器具は防雨型・壁面取付専用です。

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●検知部が下になるように取り付ける
浸水による感電のおそれがあります。



必ず守る



検知部

●取付面と取付パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシーラントを塗る

取付パッキンと取付面とのすき間を防水シーラントなどで埋めてください。



パッキン外周部にもシーラントを塗る

シーラント

防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●ツマミネジはしっかり締付ける

浸水による火災、感電のおそれがあります。



アース線接続

●接地工事は、電気設備の技術基準に従い確実にを行う

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

●温度の高温なるものの近くに取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎ガス機器やその排気筒の近くに取り付けしないでください。



必ず守る

●器具の取り付け取り外しは

手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。

施工前にお読みください

設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けしないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に
取り付けると誤動作の原因となります。

✕ 反射の強い床面のある場所	✕ 風などでよくゆれる植物の近くなど	✕ 取付高さが3mを超える場所	✕ 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの近く	✕ 他の照明器具に近い場所
✕ 交通量の多い道路に面した場所 車などより大きな熱源の場合、取扱説明書記載の検知範囲より広くなります。	✕ 前面に障害物のある場所（透明なガラスも含む）	✕ 振動の激しいボールなど不安定な場所	✕ 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所	

●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線についてのご注意

●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）

・連続点灯への切り替え操作ができません。

・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。

●壁スイッチはセンサー器具1台につき1個で使用してください。

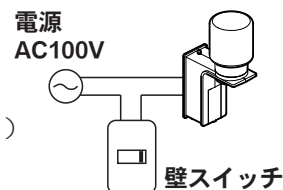
1個のスイッチに2台以上のセンサー器具を接続すると、連続点灯への切り替え操作の際に、全ての器具が同時に切り替わらないことがあります。

●ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき、スイッチ3個までで、ご使用ください。

（4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯ないことがあります。）

●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

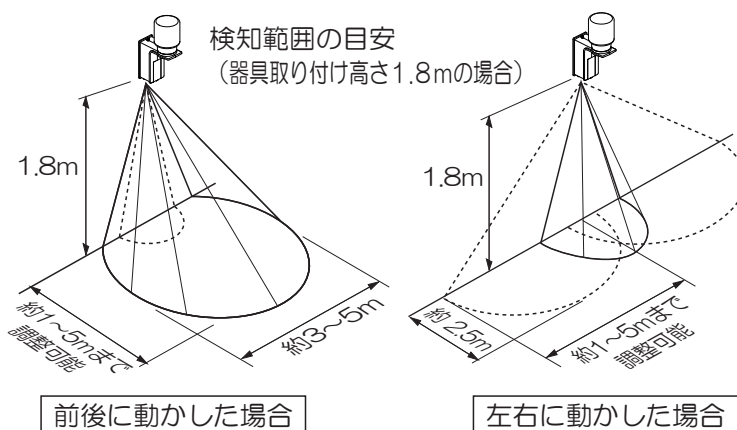


センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。

（センサの検知部は全方向に約20度動きます）

●器具の取り付け高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。



ご注意

この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件（気温、地面の状態、取り付け高さなど）、進入する人の状態（服装、移動速度、進入方向、体温など）により検知範囲が大きく変化します。

●検知範囲が広がる場合

- ・冬場など気温と体温の差が大きいとき
- ・人よりも大きな熱源（車など）が移動したとき

●検知しない、検知感度が鈍い場合

- ・人が静止しているとき
- ・周りが明るいとき
- ・夏場など気温が体温に近づいたとき
- ・センサに向かってまっすぐ近づいたとき

●勝手に点灯する場合

- ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
- ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
- ・急激な温度変化を検知したとき
- ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
- ・ごく短い停電（瞬時停電）が発生したとき

調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

取り付け前のご注意

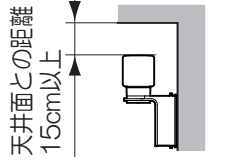
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

取り付け前の準備

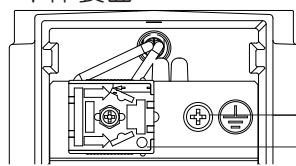
- ツマミネジ（3本）をゆるめて、取付板を取り外す。

器具と天井面は15cm以上
離してください。

指定距離より近いとランプ交換の際
作業が困難になります。



＜本体裏面＞

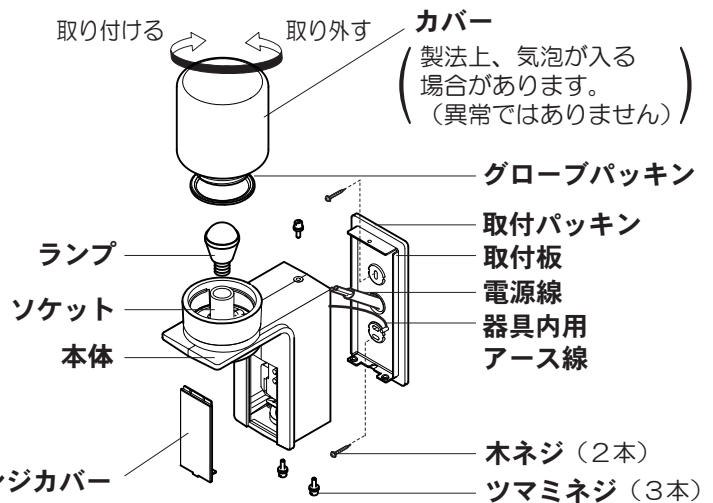


接地端子ネジ
端子台

付属部品



フランジカバー



照明器具を取り付ける

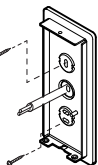
安全のため、電源を切ってから行ってください

付属の木ネジ（2本）で

1 取付板を取り付ける

◎取付ピッチ：66.7mm、
83.5mm

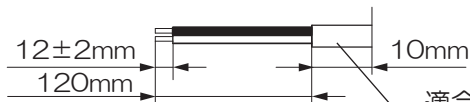
木ネジ
（2本）



端子台に

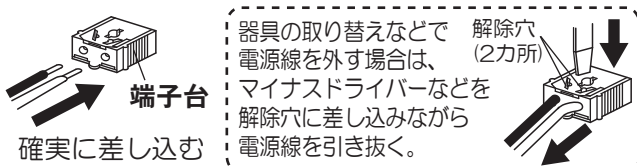
2 電源線を接続する

①電源線を下図のように加工する



適合電線
VVVFケーブル
φ1.6, 2.0単線

②電源線を端子台に差し込む



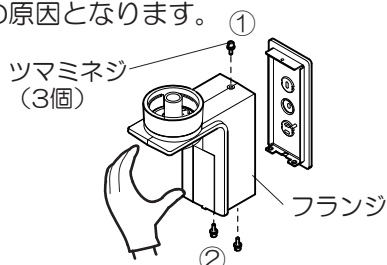
③接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行う

④接地アース線を本体の接地端子ネジに取り付ける

ツマミネジ（3個）で

3 本体を押さえながら取り付ける

線のかみ込みにご注意ください。
感電や漏電の原因となります。



警告



ツマミネジはしっかり締め付ける
浸水による火災、感電のおそれがあります。

ソケットに

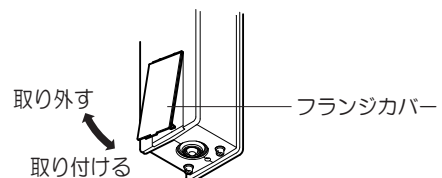
4 ランプを取り付ける

5 カバーを取り付ける

- ①グローブパッキンがカバーに取り付いていることを確認してから本体に取り付けてください。
- ②本体にカバーを確実に締め付ける。
浸水による感電の原因となります。

6 検知範囲と調整ツマミを設定する （次ページ参照）

＜フランジカバーの取り付け・取り外しかた＞



フランジカバーは必ず取り付けて使用してください。
フランジカバーを取り外したまま使用すると、水が
浸入し、感電・故障の原因となります。

検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます

設定の前に

①壁スイッチをOFFにする

②フランジカバーを取り外す



3ページ「照明器具を取り付ける」

6

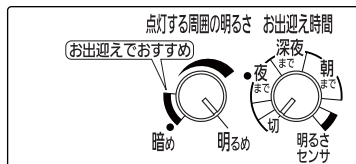
参照

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

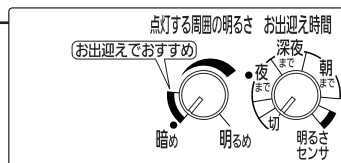
出荷時の設定

【手順】

①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ——「明るめ」（右いっぱいにはずす）
お出迎え時間——「切」（左いっぱいにはずす）



②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

●検知部は、全方向に約20度動きます。

●センサの検知範囲は、2ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

→ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

●お出迎え時間が「切」になっていない → お出迎え時間を「切」にする

●センサの検知範囲に入っている → センサの検知範囲から外に出る

●連続点灯になっている → 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて
（検知部が赤く光ったまま） 再び壁スイッチをONにする

④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

●センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

いったん壁スイッチをOFFにして

2 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の4種類の使い方ができます。（詳しくは 取扱説明書3ページ）

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード	明るさセンサモード	テストモード
動作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、 人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯	明るさに関係なく 人が近づくと点灯 検知範囲から出て 約5秒後消灯
おすすめの ツマミ設定				
詳しい 設定方法	取扱説明書4ページ	取扱説明書5ページ	取扱説明書6ページ	検知範囲を確認する ときに使用

3 フランジカバーを取り付ける

3ページ「照明器具を取り付ける」 6 参照

4 壁スイッチをONにする

→ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意●お出迎えモードに設定した場合

壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく
お出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2016-2017

LGWC85214K-S3A1

N0616-010117